

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和五年八月度 入賞句一覧 投句数 五百四十三句

特選



奥の細道  
むすびの地  
大垣

説田 祐子 選

遠い地の祖父母に送る暑中見舞い

加茂郡川辺町 伊藤 桃佳(中三)

夏休みになり、少し時間に余裕ができたのでしようか。いろいろしたいことがあるなかで、遠くに住んでおられるおじいちゃん、おばあちゃんに「暑中見舞い」を送られたのですね。受け取られたおじいちゃん、おばあちゃんの嬉しそうな顔が、読者の私たちにも伝わってきます。

中体連仲間の絆深まった

加茂郡川辺町 安江 凜音(中三)

中学生にとって、夏休みの中体連の大会は、「勝ち負け」はもちろん気になることでしょう。でも、作者はそれよりも「仲間の絆深まった」と言い切っているところが立派です。中体連の関係者も、こんな言葉を耳にしたら、きつと「これこそ中体連の大事なこと」と思われることでしょう。これからもこんな思いで取り組んでいかれることを願っています。

水馬が仲間と遊ぶおにごっこ

大垣市 大橋 佳奈(小六)

この時期「アメンボ」はよく見かけますね。アメンボの句もよく見ますが、「仲間と遊ぶ」ととらえ、それを「おにごっこ」と感じたところがおもしろいです。身近にいるものやあるものも、いろいろな見方、感じ方ができて楽しい俳句になりました。

秀逸

白さが田んぼの中にかくれんぼ

大垣市 櫻井 陽菜(小六)

帰り道私をぬかす糸蜻蛉

大垣市 白井 みくる(小六)

向日葵が空に向ってわらってる

大垣市 安田 杏菜(小六)

夏の空飛行機雲の一本線

加茂郡川辺町 山田 心冴(中二)

水筒に入れるお茶のすずしい音

加茂郡川辺町 白村 友莉(中二)

中体連真夏の涙忘れない

加茂郡川辺町 日下部 巧実(中二)

暑さ増し花も下向く昼の道

大垣市 安藤 稟乃(小六)

むすびの地カモのおやこが水あそび

安八郡安八町 松永 和樹(小四)

えんがわのうらで風鈴歌ってる

大垣市 吉川 絢真(小六)

ひまわりが太陽向いてわらってる

羽島郡笠松町 坂本 杏奈(小三)

入選

小中学生の部

夏の川スイスイ泳ぐあめんぼさん

大垣市

前田 結月(小六)

葉桜の下に流れる水門川

大垣市

大角 美渚(小六)

紫陽花が雨をかぶって虹色に

大垣市

清水 莉衣奈(小六)

おいしげる葉桜の下芭蕉さん

大垣市

増田 凜(小六)

あめんぼがちよんちよん泳ぎ遊んでる

大垣市

吉原 優愛(小六)

梅雨雲ばしよと作る五七五

大垣市

石原 滯(小六)

向日葵が向いた方向日差しあり

大垣市

吉田 彩桜(小六)

あめんぼが川にさからい水遊び

大垣市

日比 悠晴(小六)

アメンボが水面を走る水門川

大垣市

進藤 勇翔(小六)

暑い日に音楽作るセミの声

加茂郡川辺町

中島 栞奈(中二)

夏の朝自然の目覚まし蟬の声

加茂郡川辺町

大杉 ひより(中二)

ひまわりを背伸びして見る小学生

加茂郡川辺町

渡辺 かやの(中二)

ひまわりがきらきら光る花畑

加茂郡川辺町

村山 明衣里(中三)

久しぶりにぎわい見せた夏祭り

加茂郡川辺町

端無 俐乙(中三)

夜になり手持ち花火をにぎりしめ

加茂郡川辺町

日比野 遥生(中三)

寝苦しいベッドに大の字夏の夜

加茂郡川辺町

伊藤 歩花(中三)

ひまわりが太陽あびて笑ってる

大垣市

河合 正志郎(小六)

夏休みプールに入り生き返る

大垣市

笹田 琉来(小六)

夏の夜みんみん蝉が鳴き続け

大垣市

山本 紀咲菜(小六)

セミの声アラーム代わりの朝が来る

加茂郡川辺町

宮脇 紗希(中三)

選者吟

夏休み児らと声かけ体操す

祐子

